

科目名	福祉社会開発研究方法論特講	2 単位
担当者	末盛 慶	
テーマ	研究を行う上で必要となる調査方法について理解を深める。	
科目のねらい	<キーワード> 科学 研究方法 質的方法 量的方法 混合研究法 <内容の要約> 本講義では、研究を行う上で必要となる研究方法を学ぶ。具体的には、質的方法、量的方法、混合研究法を扱う。質的方法に関しては、質的方法の特徴、質的研究における研究課題の定め方、データ収集の仕方、質的データの分析方法等について解説する。量的方法に関しては、仮説の作成、質問紙の作り方、対象者の抽出方法、調査の実施方法、データの作成と多変量解析について学びます。混合研究法に関しては、混合研究法の定義、種類、研究の進め方、注意点等について説明を行います。 <学習目標> 科学の歴史と現状を理解する。質的方法を理解する。量的方法を理解する。混合研究法を理解する。	
授業の進め方	本科目はオンデマンド授業になります。ディスカッションはありません。 「nfu.jp」→「スタディ」から受講して下さい。 各回のオンデマンド授業を視聴し、質問があれば掲示板に書き込んでください。 進行の目安は、各回2週間程度とします。 *動画視聴のみのオンデマンド科目のため、各回の講義日程はあくまでも目安です 第1回 5月09日～ 科学とは何か：その歴史と現在 第2回 5月23日～ 質的方法の概要 第3回 6月06日～ 質的データの取り方 第4回 6月20日～ 質的データの分析Ⅰ：グラウンデッド・セオリー・アプローチ 第5回 7月04日～ 質的データの分析Ⅱ：修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ 第6回 7月18日～ 質的データの分析Ⅲ：参与観察法・エスノグラフィー 第7回 8月01日～ 質的データ分析Ⅳ：ケーススタディ 第8回 8月22日～ 量的方法の概要：仮説の設定 第9回 9月12日～ 質問紙の作成と配布の方法 第10回 9月26日～ 質問紙の配布とデータ入力 第11回 10月10日～ 関連を検討する：単純集計とクロス集計 第12回 10月24日～ 統計的検定 第13回 11月07日～ 多変量解析Ⅰ：t検定・分散分析・相関分析・回帰分析 第14回 11月21日～ 多変量解析Ⅱ：因子分析・信頼性分析 第15回 12月05日～ 混合研究法 課題レポート提出期限：2024年1月26日〔金〕 *提出方法やレポートの詳細については、nfu.jpのスタディ上でご確認ください	
事前学習の内容・学習上の注意	質的研究に関しては、ウヴェ・フリック(2011)『質的研究入門(新版)』春秋社を、量的研究に関しては、サラ・ボスラフ(2015)『統計クイックリファレンス(第2版)』オーム社を、混合研究法に関しては、ジョン・W. クレスウェル(2017)『早わかり混合研究法』ナカニシヤ出版を読んで上で、本講義を受講してください。各回の講義で紹介される参考図書も積極的に読みください。	
本科目の関連科目	—	
テキスト	—	
参考文献	野村康(2017)『社会科学の考え方』名古屋大学出版会 伊丹敬之(2001)『創造的論文の書き方』有斐閣 パンチ,K.F.(2005)『社会調査入門：量的調査と質的調査の活用』春秋社	
レポート課題 単位認定方法 と基準	レポート課題は各自の調査と分析の計画です。その内容をみて、評価を行います。	